

2023年4月27日

各位

会社名 株式会社ティムス
代表者名 代表取締役社長 若林 拓朗
(コード：4891 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 伊藤 剛
(TEL. 042-307-7480)

TMS-007 の開発に関するリリースについての追加コメント

株式会社ティムス(「当社」)は、米国バイオジェン社(「バイオジェン」、NASDAQ 略称 BIIB)が、日本時間4月25日午後9時(米国東部標準時夏時間午前8時)に開催した2023年第1四半期決算発表において、TMS-007(BIIB131)の後期第Ⅱ相臨床試験の開始を一時停止し、当該臨床試験を開始すべきかどうかを再評価すると発表したことについて、2023年4月26日に適時開示をいたしました。

本件に関しまして、投資家の皆様から多数のお問合せを頂戴しておりますので、バイオジェンの開示資料及び当社とバイオジェンが締結したオプション契約(「オプション契約」)の内容等を踏まえて、以下に当社の見解を補足説明させていただきます。

(1) バイオジェンはTMS-007(BIIB131)の開発を中止するのか、という質問を多数いただきました。

バイオジェンは、TMS-007(BIIB131)の「後期第Ⅱ相臨床試験を開始すべきかどうかを再評価する」と発表しております。これに対して、同社は同じ2023年第1四半期決算発表において、他の2つのプログラムを中止すること及び眼科領域から撤退することを発表しています。両者の違いを踏まえると、当社は、バイオジェンは2023年第一四半期決算発表時点においては、TMS-007(BIIB131)の中止を決定していないと認識しています。

なお、バイオジェンは2022年11月14日に新たなCEOを迎え、新経営体制の下でパイプライン全体の見直しに着手している旨が報道されていますが、当社としては、その一環としてTMS-007(BIIB131)の再評価が行われていると推測しています。また、現時点において、当社はTMS-007(BIIB131)そのものの医薬品候補物質としての価値に大きな影響を与える新たな事象を認識していないことを付け加えます。

(2) 仮にバイオジェンがTMS-007(BIIB131)の開発を中止した場合に、当社とTMS-007(BIIB131)の関係がどうなるのか、という質問も多くありました。

実際にそのような事態となった場合には、オプション契約の規定上、当社とバイオジェンはTMS-007(BIIB131)の開発権等の返還について誠実に協議することとされており、当社がかかる協議を通じて当該開発権等を適正な対価で再取得できる可能性があると考えております。当社としましては、TMS-007(BIIB131)のこれまでの臨床試験及び非臨床試験の結果から、TMS-007(BIIB131)の医薬品としての可能性を強く信じております。当社がTMS-007(BIIB131)の開発権を再取得した場合、現時点では前期第Ⅱ相臨床試験の結果が判明しているため、当該判明前に行ったバイオジェンとの交渉と比較して、より開発段階が進んだ医薬品候補物質として開発リソースの獲得交渉(製薬会社との提携交渉を含む)を行い得ると考えております。

本件につきましては、新たな情報が得られましたら、速やかに開示いたします。

以上

本リリースには、当社に関連する予想、見通し等の将来に関する記述が含まれます。これらは、現時点において入手可能な情報をもとに作成しており、一定の前提や仮定を使用しています。これらの記述や前提・仮定は当社の経営陣の判断または主観的な予想を含んでおり、様々なリスクおよび不確定要素により、将来において不正確であることが判明し、または将来において実現しない場合があります。したがって、これらの将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。